

## 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

長池小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年9月1日（火）午後7時30分～9時

開催場所：緑ヶ丘コミュニティセンター

参加者数：30名（男性24名、女性6名）

市出席者：田中市長、原副市長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、中原教育長

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでの意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 長池小学校区地域レポート
- ④ 平成21年度市政運営方針
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

### 3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>① 学校の安全・安心、ごみ問題について</p> <p>○ 長池小学校や各学校の耐震化の状況について教えてほしいです。</p> <p>○ 八尾市の児童の新型インフルエンザ発生状況を教えて欲しいです。秋には地域活動においてイベントなどが多くあるので情報提供をお願いしたいです。</p>	<p>○ 長池小学校の南・東校舎については、平成20年度に第2次診断を終えています。北校舎については、平成22年度に第2次診断を終えます。北校舎の第2次診断終了後に補強工事の計画を立てていきます。体育館については、平成21年度に2次診断を行い、必要性があれば補強工事を進めていきます。八尾中学校については、体育館・北校舎についてはAランクで新耐震基準に合致しており、南校舎はBランクで補強の必要性はあるもののすぐに耐震工事が必要な状況ではありません。</p> <p>○ 先の流行期には八尾市での発生状況などを随時情報提供していましたが、国の基準の変更もあり、現在では難しい状況になっています。学校園の休校・休園などの基準も変更になっており、一学期は7日間の休校措置をとりましたが、今後は学校園ごとに4日間程度になります。市内では、1学級が8月31日から9月2日までの間に学級閉鎖になっています。</p>	<p>○ 平成22年度で学校園の耐震診断を完了させ、その結果に基づき地域の一次避難所となる体育館の耐震補強を優先に、順次耐震補強計画を策定し、「八尾市耐震改修促進計画」に沿って耐震化を促進してまいります。</p> <p>○ 学校園における新型インフルエンザに関する情報については、八尾市ホームページの「新型インフルエンザに関する情報について」のなかで「インフルエンザ感染防止のための学級閉鎖等の状況について」で学校園の学級休業等の情報を掲載しておりますのでご確認ください。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 10月からごみ8多種分別を控えている中、大阪市のごみ焼却場について、撤退するかもしれないという新聞報道を見ました。どのような状況にあるのかを教えて欲しいです。</p>	<p>○ 10月からの8種分別、ご苦労をおかけしますがご協力をお願いします。ご質問の焼却場ですが、8月5日付けで新聞報道がありました。大阪市がごみ焼却場に関する検討委員会を開催していることは承知していましたが、唐突な発表とその内容に対しては速やかに抗議文を送りました。八尾市と大阪市は行政協定を結んでおり、八尾市にある大阪市の焼却場で八尾市のごみを焼却する内容となっています。最新の委員会の資料を見ますと将来には見直しを行うようにも受け取れますので、引き続き協議を進めて行きたいと考えています。</p>	<p>○ 大阪市環境局八尾工場の取り扱いについては、長年にわたる経過（大阪市並びに八尾市の行政協力に係る経過並びにごみの共同焼却処理に係る経過）を踏まえ、引き続き協議を進めていきたいと思えます。</p>
<p>② 学校、地域の安全・安心について</p> <p>○ 長池小学校校舎について、2階底部分がはく離して落ちるかもしれないとのことから柵で立ち入り禁止にしている場所がありました。補正予算で各校へ地上デジタルテレビが購入されることですが、学校施設の改修を優先して欲しいです。</p>	<p>○ お話の件については、劣化部分撤去のための一時的な措置と思われる。耐震化を含めて学校の安全確保は全体的な対応を進めて行きたいと考えています。</p>	<p>○ 施設の経年経過により老朽化が進んでいるなか、危険な箇所や学校運営に支障をきたす不具合な部分については、学校と連絡を密にしながら児童・生徒の安全確保を最優先に対応しております。今後は耐震化を進めるなかで外壁改修等も含めた工事を行い、施設の安全性と機能更新を図ってまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 「地域レポート」にも書かれていますが、萱振町内のバス通りについては、以前より危険性が指摘されていますが、改善されていないように思います。通学路になっていることもあり、早急に改善して欲しいです。</p>	<p>○ テレビの件については、地上デジタル放送の開始により、今のテレビでは、平成23年以降は使えなくなりますので、I C T (情報通信技術) 関連の補正予算を計上したところで、テレビのほか、パソコンの買い替えなどに使います。これらの取り組みは、子どもたちの教育環境の整備や子どもが興味を持つことが学力向上につながるといったことをめざすものです。</p> <p>○ お話の場所については、以前からの懸案であると思います。ただ、用地の買収などもあり、改善は難しいと考えています。しかし、大阪府・国とも連携をとり、危険な箇所を改善して行きたいと考えています。</p>	<p>○ 情報化の流れは世界的にも急速に進展しており、次世代のデジタル世界を担う子どもたちの情報活用能力の向上は急務であると考えております。また子どもたちに確かな学力を身に付けるためには、「わかる授業」の実現が不可欠であります。</p> <p>このような観点から、学校教育に関連する様々な場面でのI C T活用を効果的かつ円滑に進めるために、学校のI C T環境を整備し、授業におけるI C Tの活用を推進してまいります。</p> <p>○ 萱振バス通りは、沿道に多くの家屋が立ち並び、道路拡幅していくのは非常に困難な状況であります。そういう中、ご指摘のとおり危険な状況であることは認識しております。沿道の方に協力を頂いた箇所については、民地内へ電柱を移設したり、側溝に蓋をかけたリ・形状を変えたりと、通行幅を確保する整備をしています。沿道地権者の協力を得られない箇所もあり、整備が進められないのが現状であります。一方通行化も一つの方法ではありますが、地域の皆さんの総意が必要となり</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 長池小学校付近、小畑町3丁目、桂町5丁目付近の道路が危険です。新しい道が出来、交通量も多くなってきており、信号機の設置など検討できませんか。</p>	<p>○ 信号設置が可能な環境にあるのかについては、場所の確認をしていないので、分かりませんが、安全対策については、検討していきたいと考えます。</p>	<p>ます。</p> <p>○ ご要望の信号機設置については、大阪府公安委員会の所管事項となり、八尾警察署を窓口として要望することとなります。今後、地域の総意として信号機設置に向けてご要望される場合は、八尾市の担当課までご相談いただければご協力させていただきます。</p> <p>なお、信号機設置以外の交通安全対策についても担当課までご相談いただければ可能な範囲で対応させていただきます。</p>
<p>③ 学校施設の老朽化、交通環境について</p> <p>○ 長池小学校の体育館のトイレの状態が悪いです。体育館は校舎より新しい施設だと思えますが、新しいほうでこの状況では校舎はもっとひどい状況ではないかと思えます。八尾中学校は長池小学校よりも古い建物であり、小学校、中学校ともに耐震化以前の問題として改修が必要ではないでしょうか。</p>	<p>○ 市内で学校の建物は250～260棟あります。原則として市民の避難所となっている体育館の耐震化を先にし、後に校舎を行なうこととしています。八尾市の耐震化は遅れていますが、手続き上、耐震診断を済まさなければ耐震化の方向性を出せません。当初、平成24年度としていた予定を前倒しで進めているところです。トイレの件ですが、学校でトイレをしないという子どももいて、衛生上だけでなく健康面での心配もあります。学校の安全対策についてはきちんと進めていきたいと考えています。</p>	<p>○ トイレの改修は学校施設の環境向上にとって重要であるため、今後とも学校と協議しながら計画的に改修を進めてまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 河内街道（萱振町内バス通り）について、数年前から電線地中化の話聞いていますので、ぜひ進めて欲しいです。</p>	<p>○ 買収してすぐに拡幅を進めるといった状況ではありませんが、側溝などを利用することなども含め、府や関係機関と協議を進めて行きたいと考えています。</p>	<p>○ 沿道の方に協力を頂き、民地内へ電柱を移設したり、側溝に蓋をかけたり・形状を変えたりと、可能な箇所は通行幅を確保する整備をしていますが、電線の地中化は現状の道路幅員では効果は少なく、実施困難であると考えております。</p>
<p>④ 環境、教育問題、交通安全などについて</p> <p>○ 校区内を流れる楠根川について、南側から暗渠を出て長池小学校区になると泥だらけの川になっています。美化の強化をお願いしたいです。</p> <p>○ 学力テストにおいて、大阪府下の成績が芳しくないというニュースを聞きました。小学生の順位が若干向上したが、中学生の結果は低いとのこと。関連してですが、今年度から学校施設の施開錠について学校の先生が一部を担うことになったようですが、学校の先生には教育</p>	<p>○ 他の校区のタウンミーティングにおいて、地域の皆さんから「行政の協力が得られれば、住民も努力したい」とのお話がありました。楠根川についてもご協力いただければと考えます。ただ、楠根川については、川底が低くなっていますので、地域で出来ることと行政が行わなければならないことを地域の方々とお話を進めて行ければ、と思います。</p> <p>○ 生活調査とともに学力調査を行いました。数点の差の間に各府県がひしめいて、1点、2点の差が大きく順位の違いになるという状況もあり、得点による評価が先行している感もありますが、大阪府は全国平均を下回っています。特に中学の応用部分が低くなっています。学力向上</p>	<p>○ 楠根川の近鉄大阪線より下流(北側)は、一級河川であり、大阪府が管理を行っています。市から担当部署に依頼します。</p> <p>○ 本調査は、競争を目的とするものではなく、教育・教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。 本市の調査結果は、小学校では、国語・算数それぞれのA区分(主に「知識」に関する問題) B区分(主に「活用」に関する問題)のともに、</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>に専念できるような体制にすべきではないでしょうか。</p>	<p>を生活面とあわせて考えて見ますと、規則的な生活習慣を持つ子どもは得点が比較的高いなどの結果があります。それらのことから、学力向上には、家庭にお願いすること、学校ですべきこと、児童・生徒が自主的に行うべきことを考える必要があると思います。特徴として、無答率が高いことから持久力がないことも伺えます。また、学習意欲が湧かないという面では教師にも児童・生徒が興味・関心を持つ授業を研究する必要があると考えます。学力向上は、短期間で上昇するものではないとも思われますが、生きていくためには何が重要かという「生きる力」もあわせて向上するよう「知・徳・体」の調和のとれた人間形成をめざして努力していきたいと考えます。学校運営では、2学期から朝夕の施開錠のいずれかを教員でお願いしています。財政状況の好転についても一方では節約の結果でもあります。ただ節約するだけでなく、節約によって生じた一部を他の学校教育運営に振り向ける措置をとっています。</p>	<p>平均正答率において全国の状況との間に有意な差は見られず、全国と同水準にあると考えます。</p> <p>また、中学校の結果では、国語・数学のA区分において全国の状況と比べわずかに下回る状況でしたが、国語・数学のB区分においては全国の状況との間に有意差が見られ、主として、学んだ知識や技能を「活用」する力に関して課題が多く見られました。</p> <p>八尾市ではこれまでの学力調査等の結果から、①小中9年間の学びの連続性、②学力向上に結びつける授業改善、③豊かな表現力の育成、を学力向上の「3つの柱」として、各校の状況に応じた独自の目標や指標を立てながら、学力向上に向けた実践の研究開発を進める、学力向上推進事業。すべての学習活動の基盤となる言語に関する力を育成する観点から、朝の読書の定着や音読教材の開発。児童生徒が図書に親しむために学校図書館サーバーの配置を行う学校図書館活用推進事業など、市全体の学力向上に努めて行きたいと考えています。</p> <p>本調査は、出題範囲が限られ、測定できるの</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 桜ヶ丘4丁目交差点の視覚障害者用押ボタンですが、植え込みの中にあり、視覚障害者にとって非常に使いづらくなっています。市の管轄でなければ、警察などの関係機関に強く働きかけてください。昨年もお話させていただきました。</p>	<p>○ 前回のタウンミーティングで同時にお話いただいた段差については、解消させていただきました。押ボタンについては、所管が警察ということもありますが、市として何が出来るのかについて、もう一度考えて行きたいと思います。</p>	<p>は児童・生徒が身に着けるべき学力の一部であり、学校教育の一側面ではありますが、今後も更なる分析を進め、八尾市全体の学力向上の取り組みに向けた施策に反映してまいります。</p> <p>今後とも市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>○ 施開錠業務の一部を学校が担うようになりましたが、財政状況の厳しい折、行政改革推進の一つとしてお願いしているところです。このことで節約できた一部は、教育に還元できるよう措置を講じております。学校教諭には、このような厳しい財政状況を理解しながら、施設を守り、子どもたちを守り、質の高い教育を実践していくよう、今後とも取り組んでまいります。</p> <p>○ 要望の箇所については、前回のタウンミーティング以降に八尾警察署に要望しております。今回の件については改めて再確認の要望を行ってまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>たが、改善されていないようです。</p>		
<p>⑤ 教育環境について</p> <p>○ 親の収入が子どもの学力に影響していると聞きますが、就学援助基準の緩和によって多くの家庭がその制度を使えるようにしてはどうでしょうか。</p> <p>○ デジタルテレビ等は、アナログ放送終了に伴い必要と思われますが、電子黒板は本当に必要なものでしょうか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>○ 現在、就学援助を受けておられる方は八尾市では府下平均よりも高いです。現在の経済環境の厳しさは実感しているところですが、市の財政状況からは拡大は難しい状況です。経済環境の変化で必要になった場合は年度途中でも相談を受け付けています。</p> <p>○ 一校にひとつ取り入れることとしています。新しい教育教材を取り入れ、子どもが興味を持つことで学力向上の期待は大きいと思われます。また、八尾の歴史文化なども含め、さまざまな教育に有効な素材を活かすことができると考えています。</p>	<p>○ 就学援助制度は、教育の機会均等確保や義務教育の円滑な実施のためには必要な制度であり、今後も就学援助制度を堅持するためには、現在の市の財政状況では就学援助の基準を緩和することは厳しい状況です。</p> <p>○ 情報化の流れは世界的にも急速に進展しており、次世代のデジタル世界を担う子どもたちの情報活用能力の向上は急務であると考えております。また子どもたちに確かな学力を身に付けるためには、「わかる授業」の実現が不可欠であります。</p> <p>このような観点から、学校教育に関連する様々な場面でのICT活用を効果的かつ円滑に進めるために、学校のICT環境を整備し、授業におけるICTの活用を推進してまいります。</p>
<p>⑥ 教育環境について</p> <p>○ 就学援助基準である、生活保護基準の1.1倍を元に戻すことが、テレビなどの購入などより</p>	<p>○ 学校のテレビの購入は、平成23年にはデジタル化に伴い、見ることができなくなるため、国</p>	<p>○ デジタルテレビの整備につきましても、平成23年7月のテレビ放送の完全デジタル化の</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
も優先するのではないのでしょうか。	の補助制度を活用して、買い替えを選択しました。市全体の計画の中で判断したものであり、就学援助の基準についても、市全体の予算の中で考えたいと思います。	実施をひかえ、将来の財政負担を考えると国の補助金を有効に用いて、整備することも有益であると判断したところです。